



平成30年10月4日

横浜市都市整備局市街地整備推進課
東京急行電鉄株式会社
学校法人昭和大学

藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定 を締結しました

東急田園都市線藤が丘駅周辺において、豊かな緑に囲まれ、人にやさしく、多世代が元気に暮らせるまちづくりの実現に向け、「駅前施設・病院・公園」が一体となった新たなまちづくりに取り組むため、横浜市、東急電鉄、昭和大学がまちづくり推進に関する協定を締結しました。今後、地域のみなさまのご意見を伺いながら、対象地域の魅力ある空間形成に向けて計画づくりに取り組めます。

■趣 旨

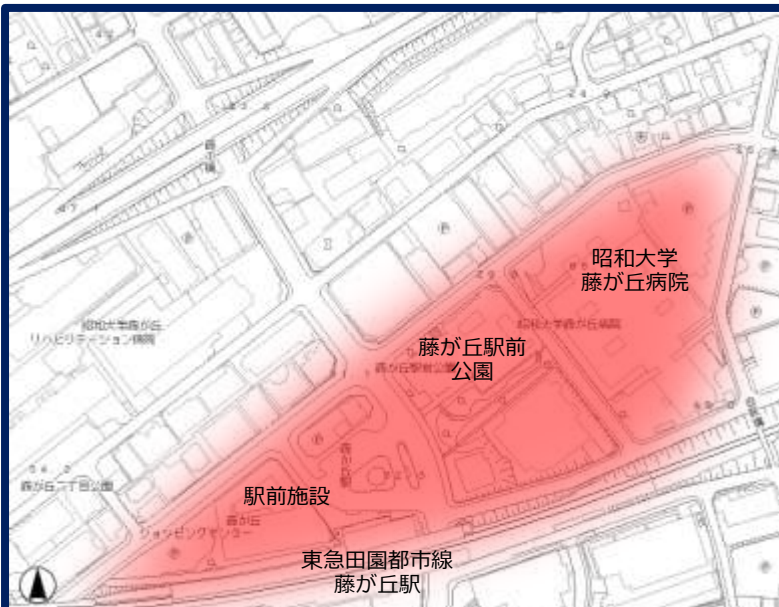
東急田園都市線藤が丘駅周辺は、昭和41年に組合施行の土地区画整理事業により道路、公園、駅前広場などの都市基盤施設が整備され、緑豊かな環境が維持されていますが、整備後50年以上が経過し、駅前施設などは施設の老朽化や機能更新などへの対応が必要となっています。

また、藤が丘駅前に立地する昭和大学藤が丘病院は、昭和50年に開院して以来、長い間、地域医療の核を担い、三次救急医療機関や災害拠点病院としての役割を果たしてきましたが、耐震化や医療の高度化に向けて再整備が必要となっています。

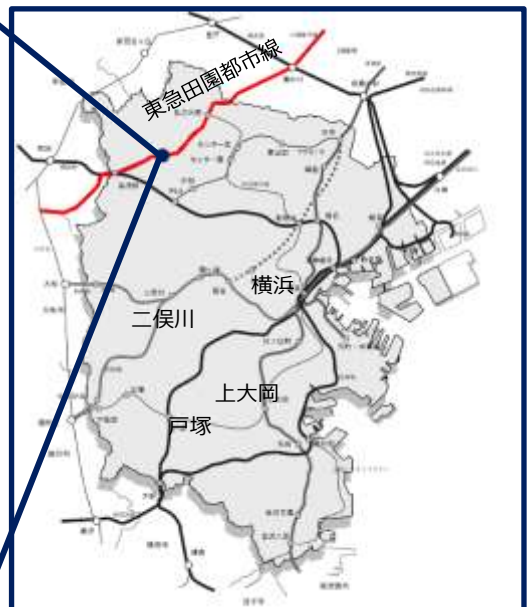
これらの機会をとらえ、「駅前施設・病院・公園」が一体となった新たなまちづくりに取り組むため、横浜市、東急電鉄、昭和大学は、平成30年10月1日に、まちづくり推進に関する協定を締結しました。

本協定の締結により、横浜市、東急電鉄、昭和大学は連携して、地域のみなさまのご意見を伺いながら、藤が丘駅周辺において、豊かな緑に囲まれ、人にやさしく、多世代が元気に暮らせるまちづくりを目指すとともに、老朽化した施設などの機能更新や対象地域の魅力ある空間形成に向けて計画づくりに取り組めます。

なお、横浜市と東急電鉄は、平成24年に「次世代郊外まちづくりの推進に関する協定」を締結し、横浜市内の東急田園都市線沿線の郊外住宅地において「産・学・公・民」が連携して、良好な住宅地とコミュニティの持続・再生を目指すまちづくりに取り組んでいます。



計画づくり対象地域



横浜市域図

■協定の主な内容

1. 目的：豊かな緑に囲まれ、人にやさしく、多世代が元気に暮らせるまちづくりの実現に向け、3者で緊密に連携協力しまちづくりを推進する
2. 取組事項：(1) 対象地域の魅力ある空間形成に関する検討
(2) 藤が丘駅前公園の機能維持・向上に関する検討
(3) 駅前施設の機能更新に関する検討
(4) 昭和大学藤が丘病院の再整備に関する検討
(5) 対象地域の都市計画に関する検討
(6) その他
3. 地元関係者などとの連携：『1. 目的』を達成するため、地元関係者などとの連携によりまちづくりを推進する
4. 協定有効期間：平成30年10月1日～平成33年9月末日

